

五十嵐ゆうこの米國小売業最新レポート
2020年8月14日
Pay It Forward

先週より食品小売業の新店舗オープン情報が続々と発表されています。

2002年にアリゾナ州で創業し、現在は全米で340店舗以上を展開する青物市場風の農産物売り場と自然食品が目玉である Sprouts Farmers Market は、8月12日にフロリダ州の Tampa に、10月28日にはもう一店舗を同州の Westchase に新店をオープンする予定です。



フロリダ州といえば1930年に創業し、アラバマ州、ジョージア州、ノースカロライナ州、サウスカロライナ州、テネシー州、バージニア州の6州に1250店舗以上を展開する Publix も精力的に新店をオープンしています。

6月～7月にかけてはフロリダ州に5店舗、バージニア州、アラバマ州、ノースカロライナ州、ジョージア州に1店舗ずつオープンしています。

そして8月末までに更にフロリダ州とバージニア州に1店舗ずつ追加オープンする予定です。

これらの一連の動きは、やがて訪れるパンデミックの収束に向けて実店舗に顧客が戻ってくる可能性を予測します。

たとえ外出自粛中にオンラインでの購入が急拡大し、消費者もWEBを利用した購入に慣れてきても、実店舗へ出かけての購入を楽しみたいと望む声も聞かれます。





これまでの米國小売業が辿ってきた過去を振り返っても時代の変化に応じて臨機応変かつ迅速な対応をして来ています。

現在、オンライン&宅配というニーズの高まりにスピーディな対応をしながら次段階への準備も怠っていないという事です。

新型コロナウイルスの終息後に訪れる New Normal（新しい常識）と呼ばれる新時代に対し様々な業界専門家の意見があります。

今回はその内の1つとされる新しい動きについて紹介したいと思います。

米国ではこの数か月の間に新型コロナウイルス感染拡大と並行して人種差別に対するデモ活動がジョージ・フロイド氏の犠牲をきっかけに広がりました。

人種問題に対するデモ活動は過去にいくつもありましたが亡くなったフロイド氏も感染していたという事と今回の様に未曾有の感染症や災害が起きる度に“一番の被害者は常に社会的弱者である”と言うことが浮き彫りとなった事が、デモ活動を更に大きくしました。

米国で新型コロナウイルス感染による重篤患者を人種別に調査した結果、黒人を含む有色人種の数値は地域によって多少異なりますが、白人の5~6倍との統計が出ています。

感染しても容易に医療を受ける事が出来ない貧困層が住む地域に黒人や有色人種が集中しているからです。

メディアでは全米のみならず世界中のいたるところで “Black Lives Matter!” のプラカードを掲げて行進する多くの人々がいました。

この運動の本質は黒人の人権のみにフォーカスしているのではなく、社会的弱者全般に光を当てサポートしなければパンデミックや格差を改善する解決策にはならないのだ という考えを広める事でもありました。

そして人々は現状打破に向けて法を変える提案をし、新しいサポートを開始するなどそれぞれ行動に出始めたのです。

小売業やサービス業界にも新しいサポートプログラムが誕生しました。

それが "**BIPOC オーナーのビジネスをサポートしよう**" という意味の **Support BIPOC-Owned Business** です。

BIPOC とは黒人や先住民、有色人種という意味の **Black, indigenous and people of color** を省略した言葉で主にインスタグラムなどでソーシャルネットワークの抗議デモを呼び掛けや問題定義をする際に使用されています。

その略語に "オーナーとなる" という意味の Owned をつけて彼らの生活向上のために "**BIPOC がオーナーのビジネスをサポートしましょう**" という意味になります。

現在パンデミックは全国的に企業や産業に影響を与えていますが、特に黒人の事業者には深刻な打撃を与えているという統計が出ています。

アメリカ国立経済研究所によれば2020年4月末の時点で黒人が運営する企業は41%減少し、労働統計局の発表では16歳から64歳の黒人の16.1%が失業し、この統計は昨年同時期から10%も増加しています。

米国人の意識の中では、抗議デモ活動に参加しなくても黒人や有色人種が直面してきた社会的格差について学び、BIPOC が所有するビジネスをサポートすることが良い変化をもたらすという考えが生まれています。



下記は数日前に MSN ニュースでも取り上げられていた “How to Support BIPOC-owned Business(如何に BIPOC 所有のビジネスをサポートできるか)” という特集記事から抜粋しました。



① **More than a trend (一時的なトレンドで留まらない)**

BIPOC-owned の事業主は資金調達やローンの拒否など多くのハードルに直面してきました。サポートを行うからにはその都度では無く永久的にすることが必要です。目標は彼らへの優しさの問題に対する認識を広め続ける事です。

② **Do your research (リサーチする)**

近所、近郊や国内、そして世界的な BIPOC-owned の企業や店がどれだけあるのか調べてみましょう。

③ **Order directly from the business (直接そのビジネスに注文する)**

サポートしたい店や企業を見つけたら第三者機関を介さずに直に買いましょう。そうすれば商品やサービスに支払われる金額の 100%が彼らに還元されます。例えばお気に入りのレストランに宅配や持ち帰りの注文をする際、デリバリー専用アプリから注文すると利益の一部はアプリ会社へ支払われます。できれば直接店に電話して注文してみませんか？

④ Be a consistent buyer (常連客となる)

BIPOC-owned のビジネスを真剣にサポートするのであれば、レストランで一度だけ利用したり、本を一冊だけ買ったり、一日だけサービスを使用するだけでは不十分です。サポートとは常連客となる事です。お金をたくさん使って One-time shopper(一回きりの買い物客) になるのではなく、むしろ少ない出費でも買い続ける行動が大切です。

⑤ Integrate products from BIPOC-owned brands into your everyday life (日常生活で使用する商品に BIPOC-owned の商品を統合させる)

常連客となる最も簡単な方法の1つは、BIPOC-owned の商品を日常生活で使用するアイテムに統合させる方法を見つける事です。

例えば日々のスキンケアやヘアケア、キッチンや掃除で使う家庭洗剤剤に BIPOC-owned 商品を組み入れたりするのもアイデアの1つです。

⑥ Follow them on social media (ソーシャルメディアをフォローする)

サポートを示すには SNS でビジネスをフォローしお気に入りの最新情報を入手しながら他のフォロワーに口コミを広げていく方法もあります。

⑦ Share positive reviews (肯定的なレビューを共有する)

新規顧客が購買を決定する際に行う行為で一番多いのは、他者のレビューをくまなく調べてから購入ボタンを押すことです。あなたが BIPOC-owned の商品で良い経験をしたと感じたら肯定的なレビューを彼らの HP サイトや Yelp, Google のようなレビューサイトで感想を共有してください。そのレビューが将来の新しい常連客をもたらす可能性があります。

⑧ Spread the word about the business (口コミを広める)

口コミは情報が共有される最も優れた方法の1つです。どうぞ家族や友人に好きだなと思う BIPOC-owned の商品や美味しいと感じた店についてどんどん話してください。

⑨ Support initiatives to promote BIPOC-owned business (BIPOC-owned ビジネスを促進させるための取り組み)

例えばフードアプリを使用して今日の夕飯をどこで食べるかを決める際に、BIPOC 所有のビジネスを表示する項目があるかを確認してもしあればそこから注文してみましょう。

または地元の小売店に行った時に BIPOC-owned の商品を陳列する棚に気づいたら、自らの買い物かごへいくつかのアイテムを足してみましょ。現在 Uber, Postmates, Google, Amazon, Thrive Market などの大手小売業者や企業では、BIPOC-owned のサービスや商品を見つけるのに役立つページや機能を展開しています。これらのリソースを最大限に活用して継続的に購買を増やしましょう。



WHAT'S TRENDING

BIPOC-Owned

We're proud to share another step in our commitment to elevating diversity and inclusion: Now, you can filter and shop by the BIPOC-Owned value at Thrive Market and support the 50+ brands we proudly feature today.

We're actively searching for and securing new Black- and minority-owned businesses that share our quality standards.

⑩ Focus on small steps (小さな一歩にフォーカスする)

行動がすぐ結果に繋がらず、落胆するのはよくあることです。けれども BIPOC-owned ビジネスをあらゆる方法でサポートすることが、やがて小さな一歩に繋がる事を理解しましょう。特に現在はパンデミックによって BIPOC-owned ビジネスが数々の障壁と苦難に直面しており、支援が必要です。可能な限り彼らの商品を購入し、サービスを利用し、口コミを広げていきましょう。小さなステップは長期的に大きな成果をもたらす可能性があります。

そしてCはAやBに対して恩を感じながらまた次の誰かに良い行いをすればやがて社会全体にポジティブな循環が生まれて多くの問題が改善されるという理想的な方向性を指しています。

言い換えてしまうと、親切の数珠繋ぎとも言えるでしょう。

米国人は幼い頃から学校や教会で行うボランティアなどを通し、人間には能力や環境で格差があることを学ぶ機会が多くあります。

金銭面でも余裕のある人がそうでない人を助ける精神を多くの人が持っています。

以前シリコンバレーでITセミナーを受けた際、"この地でスタートアップが生まれやすい理由は、直近の利益を求めないで新しく参入するビジネスを支援する成功者が多いからである"と聞きました。

Pay it forward は 20 年前に一躍有名になったハーレイ・ジョエル・オスメント主演の映画で『ペイ・フォワード 可能の王国』という題名で日本でも公開されました。



聞くとところによれば新型コロナウイルス感染拡大の自粛中にこの映画が再び注目を集めています。

教師が授業で「自分が嫌だと思える世界を変える方法を考えてみよう」という提案をヒントに自分の環境に不満を抱く主人公の少年が、見知らぬ3人を幸せに

するという方法からストーリーが展開し、最後に大きな奇跡を起こします。が展開し、最後に大きな奇跡を起こします。

この映画が再び脚光を浴びているのはパンデミックが収まらず多くの人が職や家族を失って絶望している状況だからこそ "Pay it forward" の精神で現状を変えていきたいと言う事なのでしょう。

実は米国以外の国でも Pay it forward の精神があります。

それはイタリアのナポリで良く目にする "il café sospeso" という言葉で、訳すと "保留の珈琲" という意味です。

ナポリでは人々がバールと呼ばれるカフェで珈琲を飲んだ後に 2 杯目を余分に支払い、この言葉を残して帰るのです。

そして余分の一杯は見知らぬ誰かが飲んで帰ります。

それは貧しくて珈琲を飲む余裕のない人でも自分と同じように温かい珈琲を飲ませてあげたいという助け合いの精神から生まれた行動なのです。

昔ナポリでは貧しい人が多く暮らしていた為に始まった行動であると言われており、お金が無くてもバールに行って「余分な珈琲ありますか？」と尋ねると、無料で美味しい珈琲を出してくれます。

今はナポリだけでなくイタリア全土で見かける心温まる粋な光景です。

英国のスターバックスもこの考えを取り入れ、余分に支払われる一杯分の珈琲の料金を慈善団体 Oasis に寄付しているそうです。



今回話題にした Support BIPOC-Owned Business ですが、日本では米国のような人種格差はほとんど無いのでこの動きがそのまま取り入れられることは起こりえないかと思います。

ですが新型コロナウイルス感染によって窮乏する居酒屋を含む小規模のビジネスや自然災害の影響で苦勞する地域ビジネスへのサポートにこの方法を役立てる事は可能であると思います。

もちろん今の状況で最も待望するのは効果的なワクチンですが真の意味で人を救済するのはAIでもITでもなく、人が人を思い遣る優しい気持ちの連鎖では無いでしょうか？

困っている人がいたら誰かが手を差し伸べ、それはいつしか大きな社会貢献に繋がって行くと思うのです。

先週からアメリカの日系テレビでも、話題の『半沢直樹2』が放送されており主人と一緒に楽しんでおります。

多くの歌舞伎役者の方々が登場し、派手な顔芸と決め台詞にいつも大笑いしています。

しかしこういう時期だからこそ、“お腹の底から痛快に笑う事”は大事なことだと思います。

半沢直樹さんの『やられたら、やり返す。倍返しだ！』や大和田さんの『施されたら、返し返す。恩返しで一す！』は有名な決め台詞ですが、もしシリーズ3作目も続くようなら是非『施される前に施します、先返しです！！』というセリフも付け加えていただけないかしら？